

授業科目 基礎ゼミ

【担当教員名】 各学科担当教員	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報	
	開講時期	前期	必修選択	必修	
	単位数	1	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 本科目は大学生生活への円滑な導入を目標とする。これを実現するために、少人数のグループに分かれ、演習等を通して、コミュニケーションの基礎能力を身につける。また、それぞれの専門分野を学習するために必要とされる基礎的な技術や知識を習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. テーマや状況に即した日本語を適切に用いることができる 2. 課題への取り組みを通し、グループ内にて相手の意見を正しく理解し、また、自分の意見を的確に述べるができる 3. 活動を通して教員や学生との交流を深め、疑問、不安、問題が生じた際に適切なタイミングで相談できるグループを構築する 4. 必要に応じた情報検索を行うことができる これらの内容は、各学科で基本方針を立案し、各ゼミの計画によって実施される ※以下の欄の内容については、各学科で基本方針を立案し、各ゼミの計画によって実施される					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	実践行動学 (Step 1) 4月7日 土 (1~4限に実施)			3	学科グループ毎
2	"			3	学科グループ毎
3	"			3	学科グループ毎
4	"			3	学科グループ毎
5	履修相談と確認 履修登録の方法を確認する				学科毎
6	オリエンテーション 自己紹介				ゼミ毎
7	各ゼミごとのテーマ決定				ゼミ毎
8	テーマに沿った活動				ゼミ毎
9	"				ゼミ毎
10	"			1~5	ゼミ毎
11	"			1~5	ゼミ毎
12	"			1~5	ゼミ毎
13	"			1~5	ゼミ毎
14	"			1~5	ゼミ毎
15	まとめ 各学科ごとに学生—教員交流会を行うこととする。 図書館司書による情報検索のオリエンテーションを含むこととする。			1~5	ゼミ毎
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	実践行動学 (Step1)	実践行動学研究所	株式会社ウイネット		
参考書	知へのステップ (改訂版)	学習技術研究会編	くろしお出版	2006・1,800円	
その他の資料	必要に応じて配布する				
【評価方法】 出席に加え、討議への積極的参加、課題遂行への貢献などを評価する			【履修上の留意点】 学生には活動に積極的に参加し、考え、発言する態度が求められる。 また、「夢を語る会」「私の夢」の発表 (6月13日予定) に参加すること。		